

この事業は、新型コロナウイルスの影響を受け、拡大の影響を受け、売り上げが減少した町内海産物の販売促進並びに経済活動の回復を図るための取り組みです。

施設のみなさんには、「楽しくおいしくいただきます」と、活きた海産物を目の前に、喜んでいただ



▶光徳子供学園



▶マザーズ・パーム

## 児童養護施設へ海産物の贈呈

8月5日、「地元産材活用支援事業」を活用し、大山町産のアワビとサザエを光徳子供学園とマザーズ・パームに贈呈しました。

大山町はアワビとサザエの水揚げ量が県内有数であり、子どもたちにも町内の産品を知ってもらいたい機会になりました。

## 民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰授与

この度、岩本正人さんが、主任児童委員として15年在職されたことにより、厚生労働大臣特別表彰を授与されました。

岩本さんは、平成16年12月から令和元年11月までの15年間、旧中山町全体の主任児童委員として、児童福祉関係機関・施設等との連絡調整や、地域と行政とのつなぎ役としてお世話いただきました。



▲15年間ありがとうございました

## 寄贈ありがとうございます

### コミュニケーションを円滑に！ 学校へ「見えマスク」

NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（森田忠正理事長）から、口元表情がよく見える透明素材の「見えマスク」を学校で役立てていただきたいの思いから40枚寄贈していただきました。

顔の表情や口元の見えない従来のマスクは、聴覚障がい者にとって、とても不便なものでした。一方、学校現場でも、表情が分かりづらく、コミュニケーションがとりにくいことや、口元の動きが見えないので、英語の発音の仕方が分かりにくい等の課題も指摘されていました。

「見えマスク」の活用により、これらの課題が改善されていくことを期待します。



▲口元・表情がよく見える！

### 「アマビエどら焼き」で 医療従事者を激励

8月24日、丸京製菓株式会社（鷺見浩生社長）から、アマビエが焼印されたどら焼き120個が寄贈され、町内3つの診療所で働く医療従事者を代表して山田まどか名和診療所長が受け取りました。

アマビエとは疫病の流行を鎮める妖怪と言われています。

鷺見社長は、「健康を守るために働く医療従事者のみなさんに感謝します。」と話されました。



▲甘いパワーをいただきます